

2024年8月26日

Singtel

株式会社日立製作所

アジア通信大手シングテルと日立が企業向け DX と AI 適用の加速を目的として、 次世代データセンターと GPU クラウド分野で戦略的提携を拡大



左から Singtel Digital InfraCo ビル・チャン CEO、日立製作所 徳永俊昭副社長

アジアの大手通信技術グループの Singtel(以下、シングテル)と株式会社日立製作所(以下、日立)は、新興成長事業を推進するシングテルの Digital InfraCo 事業部門のリードのもと、日本およびその他のアジア太平洋地域における次世代データセンターおよび GPU クラウドの構築に関する戦略的提携に合意しました。

本戦略的パートナーシップは、シングテルが持つデータセンターや接続性(コネクティビティ)に関する豊富な専門知識、技術プラットフォームと、日立ならではの強みであるグリーン電力のソリューションから冷却装置、ストレージ、データマネジメント・運用まで、データセンターのトータルインテグレーションを可能にするケイパビリティを組み合わせるものです。

両社は、データセンターの性能とケイパビリティを持続的に向上させることで、企業の AI の導入と DX を加速させます。

今回の合意は、両社が 2024 年 6 月に発表した、5G、エッジコンピューティング、クラウドのオールインワンオーケストレーションプラットフォームであるシングテルの Paragon と日立の AI アプリケーションを組み合わせ、日立の生産現場や顧客向けに試行するためのパートナーシップ*1 を発展させたものです。両社は、シングテルの Paragon プラットフォームと日立の AI に関する深い専門知識・技術を通じて、AI を導入する際に顧客が直面する複雑性に対処することをめざしています。

*1 ニュースリリース(2024年6月28日発表)「アジア通信大手シングテルと日立デジタルが、インダストリアル AI ソリューションの加速に向けて提携」
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2024/06/0628a.html>

■背景

AI やクラウドサービスの需要が急速に高まる中、日本はアジア太平洋地域で最大かつ最も急成長しているデータセンター市場の一つとして、年平均成長率 9.2%で成長し、2028 年には 50 億米ドルに達すると予想されています*2。

*2 出典：Structure Research, Japan (Tokyo & Osaka) DCI Report 2023: Data Centre Colocation, Hyperscale Cloud & Interconnection

シングテルの Digital InfraCo の CEO であるビル・チャン氏は、「デジタルシステム & サービスの分野のリーダーである日立とのパートナーシップは、戦略的に重要で成長著しい日本市場において新たな機会をもたらすものです。パートナーとの強力なエコシステムを構築することは、当社がお客さまにより良いサービスを提供し、グローバルでのリーチを広げるために常に優先事項となっています。私たちは、専門知識やデジタルアセット、ソリューションを結集し、クラウドと AI を通じて、より多くの企業のビジネスと業務の革新、変革を支援できることを楽しみにしています。日立のようなパートナー企業と連携することで、私たちのデジタルのケイパビリティを拡大し、アジア太平洋地域のリーダーへと成長することをめざしています。」と述べています。

シングテルは、イノベーションと経済成長を加速するため、2023 年半ばに Digital InfraCo を新たに設立しました。Digital InfraCo は、シングテルの地域データセンター部門である Nxera(ネクゼラ)、海底ケーブル、衛星通信、Paragon プラットフォームなど、地域内での AI 導入を推進する上で極めて重要な事業を展開しています。また、2024 年後半には AI 開発に欠かせない GPU をサービス型で利用できる GPU-as-a-Service(GPUaaS)の事業を立ち上げ、企業の AI 導入のサポートの強化をめざしています。

日立の執行役副社長 兼 デジタルシステム&サービス統括本部長の徳永 俊昭は、「日立は、創業以来、『優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する』という企業理念のもと、お客さまや社会の課題解決に取り組んできました。現在、生成 AI により、新たなイノベーションが生まれる一方で、電力需要や環境負荷の課題が顕在化し、いかにこの両者のバランスをとっていくかは、社会イノベーション事業を推進する日立にとって大きなミッションの一つです。今回、シングテルとの戦略的提携により、こうしたミッションに、ともに挑戦できることをうれしく思っています。シングテルの持続可能なデータセンターの開発・運用に関する専門知識と、日立グループが有するグリーン電力のソリューションからファシリティ、データマネジメント・運用までのトータルインテグレーションのケイパビリティを組み合わせることで、企業がスマートかつ環境に配慮した方法でデータセンターを活用し、継続的にイノベーションを創出することを支援していきます。」と述べています。

AI 向けデータセンターの拡大は、日立の強みである IT、OT、プロダクトといったあらゆる領域をうまく統合することが求められるため、日立が全社で取り組む社会イノベーション事業や、Hitachi Digital Services、Hitachi Energy といった日立グループのビジネスにとって大きな事業機会となります。

■協業内容について

今回締結した覚書の対象となる主な分野は以下の通りです。

1. 生成 AI 需要に応えるため、次世代データセンターに関する協業を検討

Nxera と日立は、日本およびその他のアジア太平洋地域でデータセンターを開発する機会を調査・検討します。クラウドと AI の継続的な成長に伴い、高効率で高品質なデータセンターマネジメントを通じ、スマー

トかつ環境に配慮したサステナブルなデータセンターの運用を実現することが重要です。このような取り組みには、データセンターの設計・構築・運用に関する Nxera の専門知識と、データセンターに特化した機器の製造・提供、次世代エネルギー・ソリューション、さらにはデータセンター環境での安定稼働を支える高度な IT システムの運用管理に関する日立の専門知識が活用されます。

Nxera は、シンガポールでの 62MW の既存容量に加え、アジア太平洋地域で総容量 200MW を超えるサステナブルで接続性の高い AI 向けデータセンターのプラットフォームを開発しています。

2. 両社の GPU プラットフォーム、AI ノウハウを組み合わせた環境で企業向けアプリケーションを開発

日立は、シングテルの GPUaaS を社内の AI アプリケーションや AI ワークロードに利用することを検討します。まず、日立社内で高性能な機械学習や生成 AI などのデジタル技術・ソリューションを強化するため、シングテルのサービスを利用する効果を検証します。そのうえで、お客さま向けのサステナブルな目標を促進する電力効率の高い設計・運用方式を確立します。

また、両社は、お客さまにおける AI システムの開発・実装にかかる時間や管理コストを削減することを目的に、上記検証結果を活用し、日立の生成 AI の技術やプラットフォームも含めたノウハウと、シングテルの GPU クラウドや Paragon を組み合わせ、エンタープライズアプリケーションを共同開発することも検討します。

■シングテルについて

シングテルはアジアの大手通信技術グループであり、次世代コネクティビティ、デジタルインフラに加え、地域データセンター部門 Nxera や地域 IT サービス部門 NCS を含むデジタル事業を展開しています。シングテル・グループはアジア、オーストラリア、アフリカで事業を展開し、21 カ国で 7 億 8,000 万人以上の顧客にモバイルサービスを提供しています。

消費者向けには、シングテルはモバイル、ブロードバンド、テレビを含む完全で統合された一連のサービスを提供しており、企業向けには、ワークフォース・モビリティ・ソリューション、データホスティング、クラウド、ネットワーク・インフラストラクチャー、アナリティクス、サイバーセキュリティ機能を提供しています。

シングテルは絶え間ないイノベーションに専念し、テクノロジーを活用して新しくエキサイティングな顧客体験を創造し、より持続可能なデジタルの未来を形づくりします。

詳細はシングテルのウェブサイト(www.singtel.com)をご覧ください。

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエナジー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティブインダストリーズ」という 3 セクターの事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。3 セクターの 2023 年度(2024 年 3 月期)売上収益は 8 兆 5,643 億円、2024 年 3 月末時点で連結子会社は 573 社、全世界で約 27 万人の従業員を擁しています。詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット

https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/common/form.jsp?UM_Key=NR

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
